

【木曾川上流】 ○目標を達成するための具体的な取り組み(案)

「5年間で達成すべき目標」に向けた取り組み内容を整理する上で、下記の「内容」について、「現在」「今後」の取り組み状況を記載願います。
なお、下記「事項」に分類されない取り組みを実施・計画されている場合は、行を追加して頂き、「内容」の記載をお願いします。

項目	事項	内容			岐阜県5流総該当箇所(施策内容)	
		国	県	市町村(青字は記載例)		
1. 迅速な非難と被害の最小化に向けた住民の主体的な避難行動を促す取組						
	①想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表 【水防法第十四条】	・【H〇〇年度中】に策定・公表予定 ・家屋倒壊洪水想定区域を表示する				
	②想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップの策定・周知 【水防法第十五条第三項】	・自治体への助言を行う		・平成〇〇年度までに、想定最大外力を対象とした洪水ハザードマップを作成(〇市町)	沿川市町におけるハザードマップの公表・配布の完了、更新	・ハザードマップの公表、周知 ・ハザードマップの更新
	③市町村避難勧告と連動したタイムラインの策定・運用	・H28.6までに10市町策定予定(うち3市策定済)。 ・その他の市町はH32出水期までに策定。		・H28.6まで策定予定(〇市町) ・H29年度までに策定予定(〇市町)		
	④リアルタイムな水位情報の提供	・ホットラインによる水位情報の提供 ・川の防災情報による情報提供 ・デジタル放送を活用した情報提供 ・プッシュ型情報発信の検討。	・岐阜県川の防災情報システム ・アラームメールによる情報提供	ケーブルテレビを活用した情報提供(〇市町)	情報伝達システムの充実	・コミュニティFM、ケーブルテレビ、衛星電話回線等を利用した情報提供方法の検討 ・携帯メール配信の整備・拡充を図る。
	⑤越水・溢水監視のためのカメラ・水位計等の整備	・簡易水位計の設置				
	⑥円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	・危機管理型ハード対策を今後5年間で整備 ・防災拠点の整備を検討		・防災無線のスピーカーの増設(〇市町)	情報伝達システムの充実	同報無線の難聴地域の解消
	⑦水災害教育の実施	・出前講座の積極的な実施 ・防災講演会(安八水害40周年 等)	総合学習の支援。	・市内小中学校の総合学習事業の拡充(〇市町) ・災害避難カードの作成(〇市町)	防災教育(小中学校)の推進	防災教育(小中学校)の推進
2. 発災時に生命と財産を守る水防活動の強化						
	①関係機関が連携した水防訓練等の実施	水防演習の実施 洪水対応演習の実施 陸閘の点検操作訓練の実施	水防演習の実施	・毎年水防団による水防訓練を実施(〇市町) ・総合防災訓練で水害想定訓練を実施(〇市町) ・陸閘の点検操作訓練の実施(〇市町)	水防活動の充実	水防訓練の充実
	②水防団との情報共有	会議等による重要水防箇所等の共有 河川管理者と水防団との合同巡視の実施		毎月団長会議を実施(〇市町)		
	③水防団との情報伝達の迅速化	—		・水防団詰所への職員派遣(〇市町) ・携帯電話、携帯メールの登録(〇市町)	水防団への情報伝達迅速化	水防団への情報伝達迅速化のための体制の見直し
	④資機材等の点検、拡充	備蓄資機材の定期的な確認と補充		資機材の定期的な確認と補充(〇市町)	水防活動の充実	水防資機材の定期的な点検と拡充
3. 洪水氾濫による被害の軽減と日常を取り戻すための排水活動の強化						
	①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した「木曾川上流域排水計画」(仮称)を作成する	・排水計画の作成【H〇〇年度中】				
	②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施する	・水防管理団体が行う水防訓練と併せて実施するとともに、年間を通して適宜実施 ・建設業協会との災害対策車両操作訓練の実施		・年数回、排水ポンプ車の排水訓練を実施(〇市町) ・河川管理者が実施する訓練に参加(〇市町)		
	③堤防決壊時の対応(情報伝達、復旧工法の検討など)を演習することを目的に、堤防決壊シミュレーションを実施する	・年1回、実施				